

岳北地域における普通高校と専門高校の魅力ある学びの場の確保についての意見書

岳北地域には普通高校である飯山高校と、専門高校である下高井農林高校があります。

二度の再編統合により学科編成を行いながら、飯山高校は普通高校として、下高井農林高校も岳北地域の産業を担う人材育成のための専門高校として、いずれも地域の期待に応えるため、特色ある学校運営をしているところです。

県教育委員会において「高校改革実施方針」が出されましたが、現在の二校の教育施設を将来にわたって残し、学びの場を創ることが岳北地域にとって必要不可欠なことであります。

以上のことなどから、岳北地域における高校教育のあり方については、次の点に配慮して慎重に進められるよう要請します。

記

- 1、岳北地域の高校においては、地域中学生の期待に応えるため、普通教育と専門教育の学びの場を確保し、それぞれの学校の特色づくりを更に進めること。
- 2、普通高校においては、進学への対応を重点とした魅力づくりや、職業に関する専門科目などを積極的に取り入れる等、教育の充実を進めること。
- 3、専門高校においては、地域産業を担う人材育成のための重要な高校であることから、環境整備や新たな教育カリキュラムの構築を進めること。
- 4、将来において、学校規模の更なる縮小が見込まれ、2校の存続が困難になった場合においては、「岳北地域の高校の将来像を考える協議会」の意見提案書を尊重した対応を要望する。
- 5、今後の県内の少子化を考えた時、県独自で実施している、小・中学校での30人学級編成を高校においても導入することを要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和2年3月19日

長野県知事 阿部 守一 殿
長野県教育長 原山 隆一 殿

飯山市議会議員 渋川 芳三